

(その四)

| | |
|------------|-------------------------|
| 工場又は事業場の名称 | 東邦シートフレーム株式会社 八千代事業所 |
|------------|-------------------------|

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

| | | | | | |
|--|------|---|---|---|---|
| | 基準年度 | | | | |
| | 12年度 | | | | |
| 使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。) | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| | ×1 | | | | |
| 排出等の量 (kg/年度) | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 処理回収率 (%) | 68 | | | | |

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (使用量 - 排出等の量) / 使用量 \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策1 | 対策2 | 対策3 | 対策4 | 対策5 | 対策6 | 対策7 | 対策8 | 対策9 | 対策10 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 2 | 1 | 2 | 2 | 9 | 1 | 5 | 6 | | |

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

H11年4月に、事業所内にある施設の中で最もVOC排出量の多い施設に排ガス処理施設(蓄熱式脱臭装置)を導入し、排ガス中VOC成分を酸化分解処理することで事業所全体のVOC排出量の約7割を処理しております。

その他の設備においては、溶剤管理の徹底、作業の効率化を実施し、歩留まりの改善を継続して取り組み、製品に対するVOC排出量(原単位 kg/t)を毎年削減しています。